

# グループ中期経営計画2020

From  
TBS



# 「グループ中期経営計画2018」から「2020」へ

|          | 18年度計画値 | 16年度実績値 | 差異       |
|----------|---------|---------|----------|
| 連結売上高    | 3,730億円 | 3,553億円 | △176億円   |
| 連結営業利益   | 195億円   | 198億円   | +3億円     |
| 売上高営業利益率 | 5.2%    | 5.6%    | +0.4ポイント |

2018年度の目標「連結営業利益」「売上高営業利益率」、  
初年度の2016年度に達成



「グループ中期経営計画2020」へ

# 「グループ中期経営計画2020」について

放送・通信融合の時代、ポスト2020年東京オリンピック・パラリンピック時代を見据え、TBSグループの基盤を一層強化するため、3つのアプローチで目指します

**1** TBSテレビの競争力向上  
最強・最良コンテンツを創出

**2** TBSシナジーを生む  
総合メディアの多様化と挑戦

**3** TBSグループが果たすべき  
社会的責任の遂行

**TBSクオリティの確立**

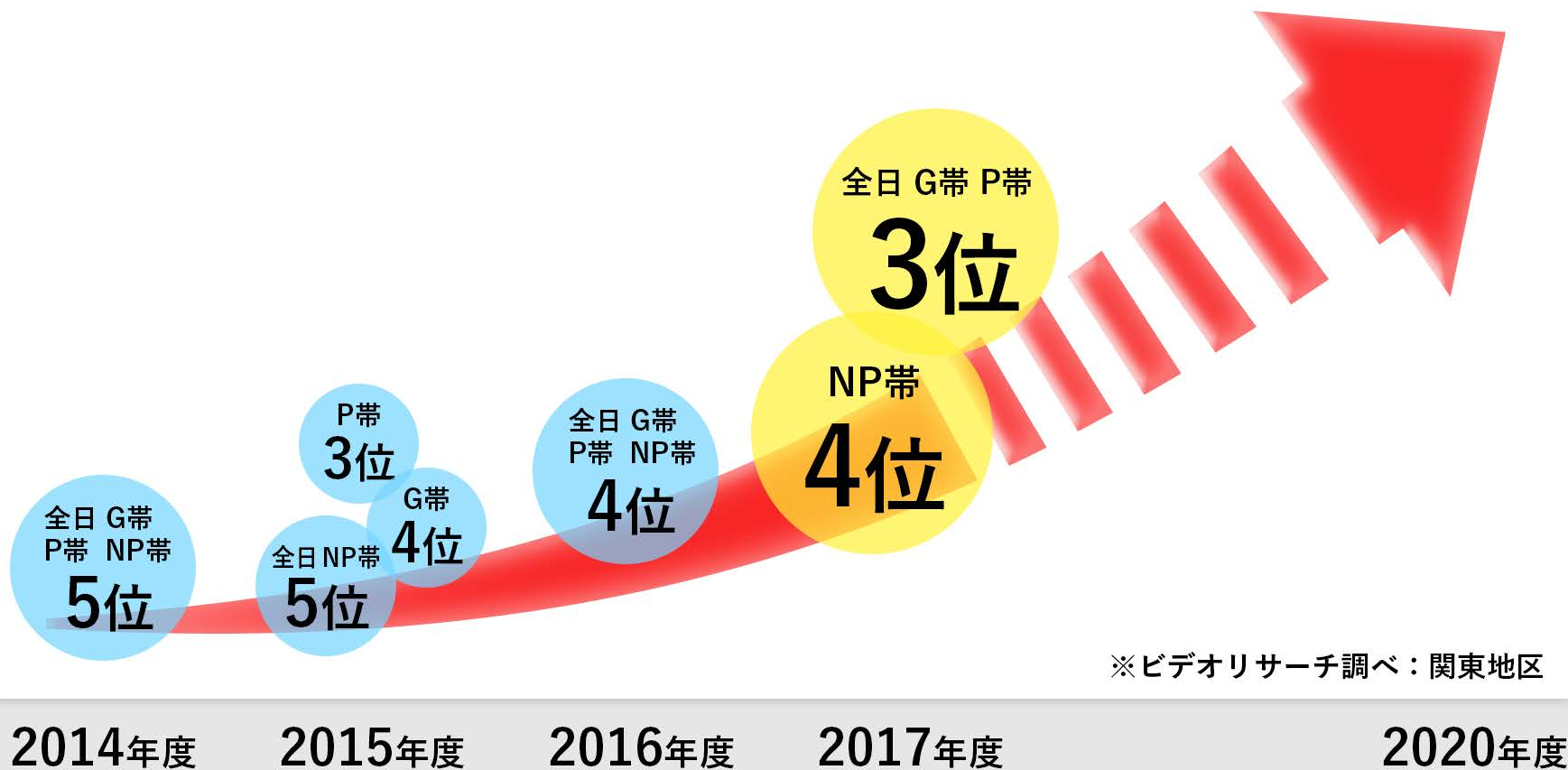


# 1 TBSテレビの競争力向上 最強・最良コンテンツを創出

# 1 TBSテレビの競争力向上 最強・最良コンテンツを創出

## TBSテレビ世帯視聴率の順位

(地上波6局 2017年12月31日現在)



1 TBSテレビの競争力向上  
最強・最良コンテンツを創出

2020年度の目標  
視聴率 **2位以上**

- ・世帯視聴率(全日、G帯、P帯、NP帯)
- ・個人視聴率、特に「ファミリーコア(男女13~59才)」

**コンテンツ強化が最優先**

圧倒的な信頼性を誇る報道機関

どこよりも早く、  
分かり易く、  
正確な情報を提供できる体制

- ・ネットワーク各局との連携の充実
- ・SNSや配信、テキストサイトの強化

人の心に響くエンタテインメントを提供

喜び、感動を伝える  
ドラマ、バラエティ、  
ドキュメンタリーを制作

- ・TBS独自のテレビ制作力の継承及び発展
- ・マルチユースを念頭においたコンテンツ開発

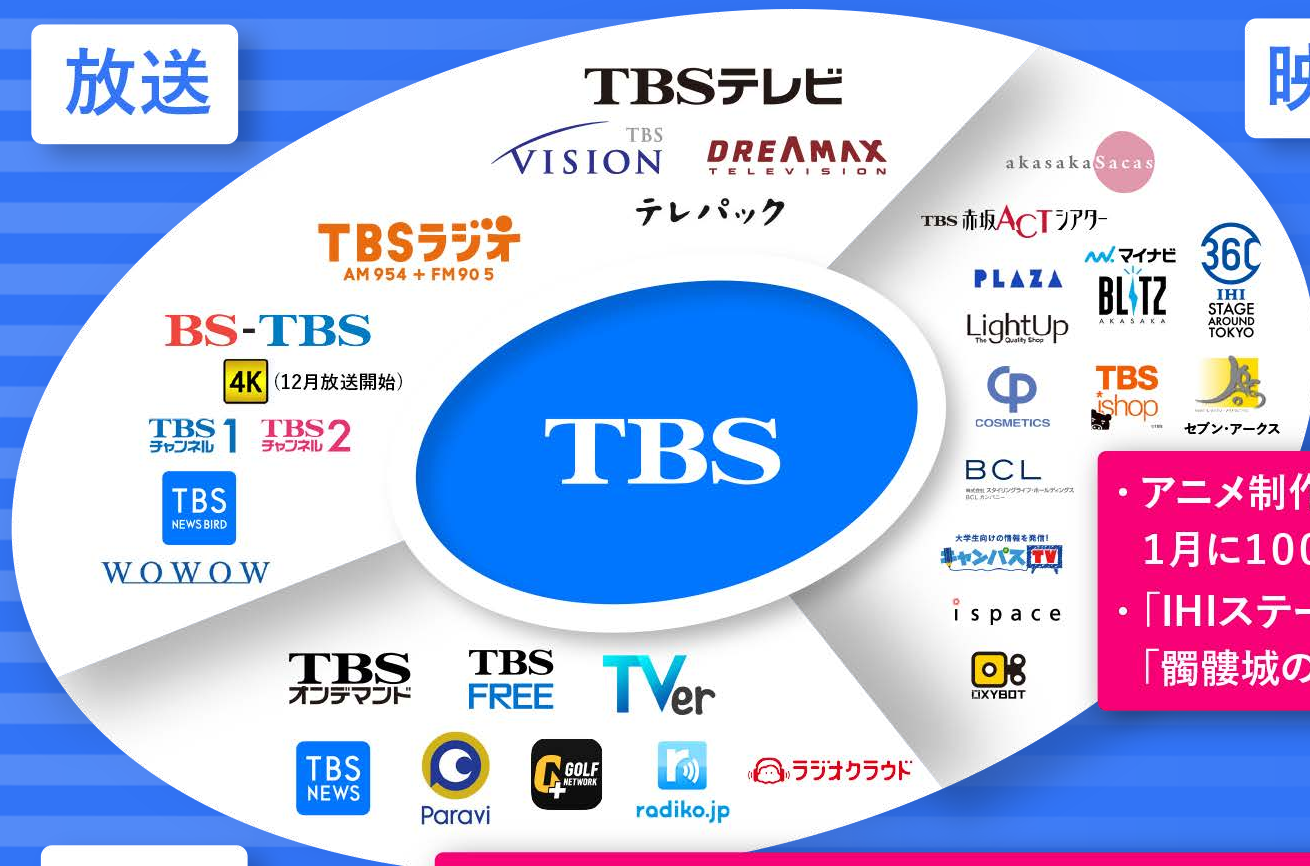


# 2 TBSシナジーを生む 総合メディアの多様化と挑戦

## 2 TBSシナジーを生む 総合メディアの多様化と挑戦

### 放送

### 映像・文化



- ・アニメ制作「セブン・アークスグループ」1月に100%子会社化
- ・「IHIステージアラウンド東京」「髑髏城の七人」に続く新作

### 配信

- ・有料動画配信「Paravi」、4月からサービス本格開始
- ・「ゴルフネットワークプラス」アプリによる動画配信



## グループの構造を見直し、グループの力を結集



### 新たな挑戦 ～領域の拡張と進化～

#### TBS宇宙プロジェクト

- ・ 民間宇宙開発に挑戦する「ispace」に出資
- ・ 日本初の「民間月面探査計画」で「映像技術開発」等の協業

#### 新技術への対応

- ・ BS、配信の「4K」をはじめ、「VR」「AR」等の実用化
- ・ 業務提携等による「研究開発」の活性化

### CVCファンドの拡大・新規事業及びM&Aの推進

2020年度までに **500億円規模の戦略的投資**



# 3 TBSグループが果たすべき 社会的責任の遂行

### 3 TBSグループが果たすべき 社会的責任の遂行

TBSグループとは… 有限希少の電波を預かる放送事業者を  
傘下に持つことにより、高い社会的責任を果たすべき企業グループ

公平・正確な情報を発信

災害・緊急時には、  
社会のライフラインとして機能

長期的成長の原動力として  
「ESG」への積極的な対応

※ Environmental（環境） Social（社会） Governance（ガバナンス）

### 3 TBSグループが果たすべき 社会的責任の遂行

E

環境

- ・ 毎月6日を「グリーン電力」推進DAY
- ・ 生物多様性保全に協力

S

社会

- ・ 4月から「はなさかす保育園」「TBSユニバーシティ」
- ・ 「働き方改革」及び「ダイバーシティ」の推進
- ・ 東京パラリンピックに向けて「パラアスリート」と協調
- ・ 「DigiCon6 ASIA」を主催

G

ガバナンス

- ・ 企業理念実現へ「TBSグループ行動憲章」
- ・ 「指名諮問委員会」及び「報酬諮問委員会」の設置
- ・ 「政策保有株式」の保有意義を定期的検証

さらに放送事業者ならではの

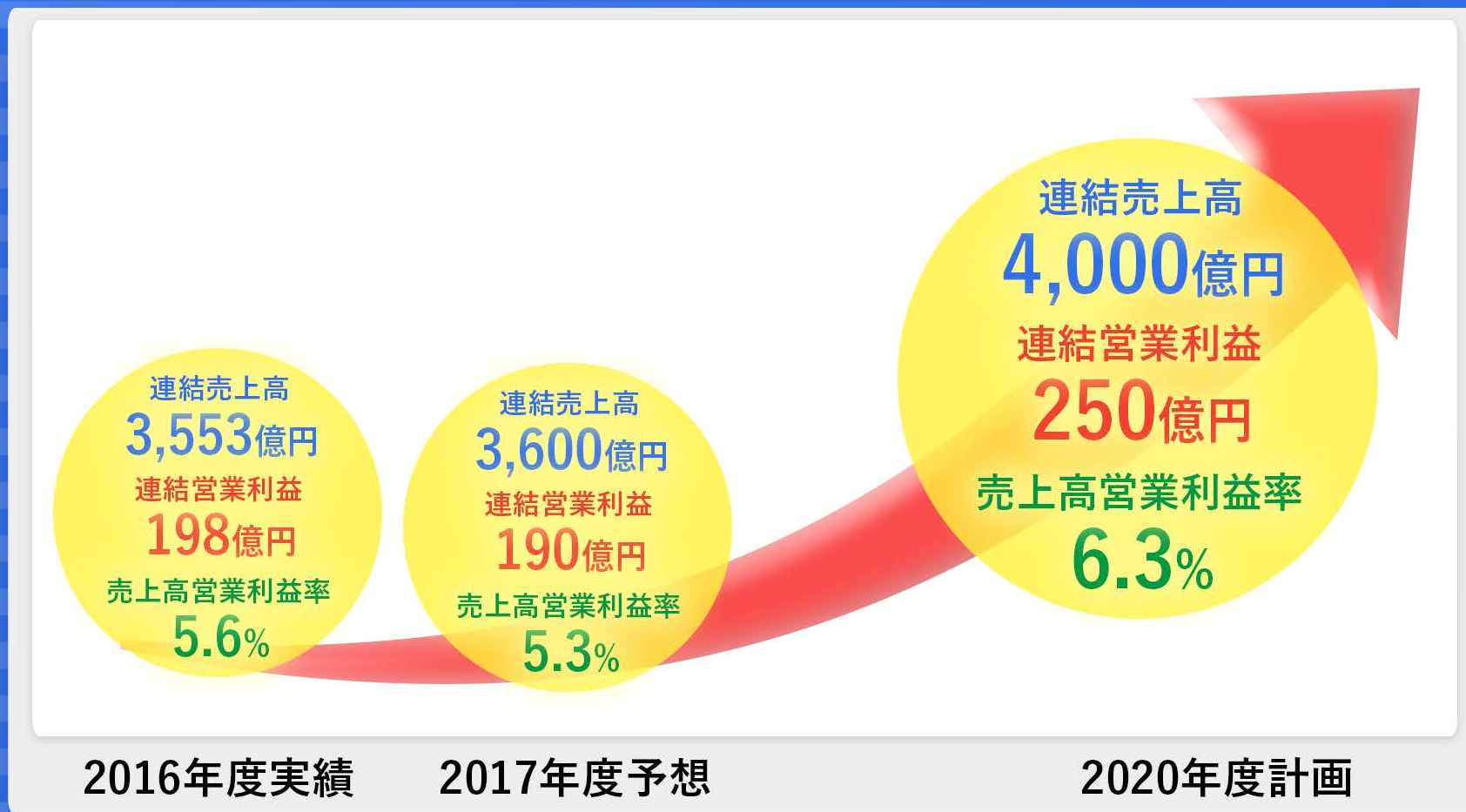
「SDGs(持続可能な開発目標)」への取り組み

「17の目標」の見地に立つ公平・正確な情報発信から



# 「グループ中期経営計画2020」 の達成目標

3つのアプローチで「TBSクオリティの確立」をした上で、



【参考】TBSテレビ 想定平均成長率(2016年度～2020年度)  
タイム収入：+0.64%/年 スポット収入：+2.72%/年

## 2020年度セグメント別連結売上高・連結営業利益・利益率

|         | 連結売上高               | 連結営業利益           | 売上高営業利益率            |
|---------|---------------------|------------------|---------------------|
| 放送事業    | 2,450億円<br>(+258億円) | 95億円<br>(+35億円)  | 3.9%<br>(+1.2ポイント)  |
| 映像・文化事業 | 1,400億円<br>(+190億円) | 85億円<br>(+23億円)  | 6.1%<br>(+1.0ポイント)  |
| 不動産事業   | 150億円<br>(△2億円)     | 70億円<br>(△7億円)   | 46.7%<br>(△4.2ポイント) |
| 合計      | 4,000億円<br>(+446億円) | 250億円<br>(+51億円) | 6.3%<br>(+0.7ポイント)  |

※( )内は2020年度計画値と2016年度実績値の比較

安定的な成長等を前提とした、「株主還元」の充実を推進

From  
TBS

【註】本資料にて開示されているデータ等は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。